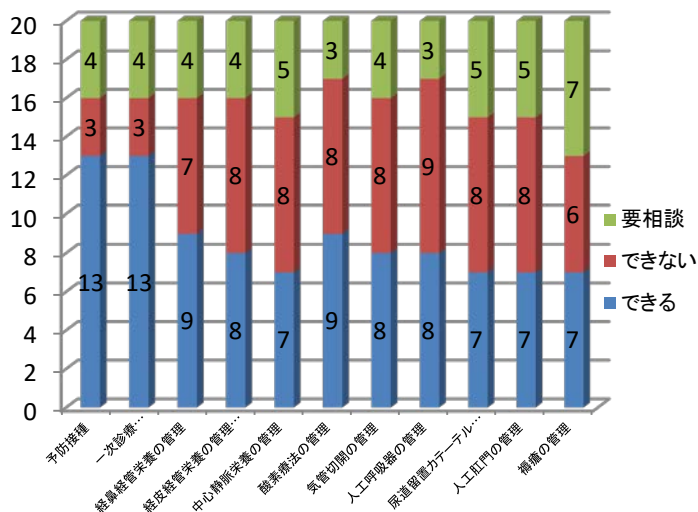


# 栃木県重症心身障害児(者) 地域資源アンケート

# I. 病院

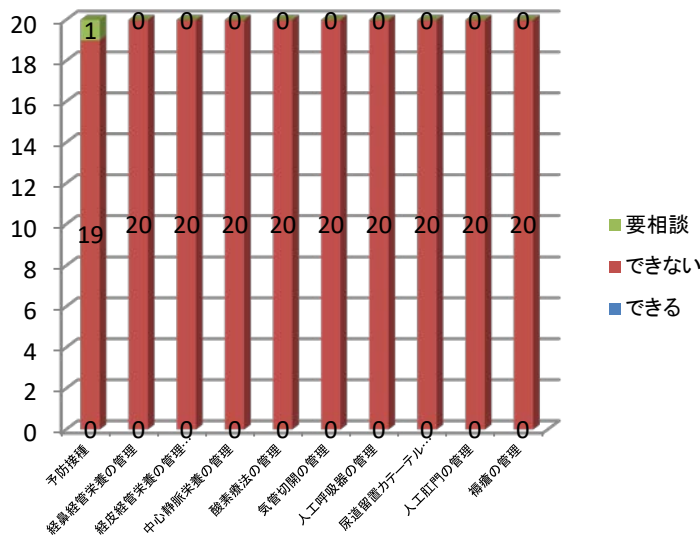
## 1. 医療ケアの必要な重症心身障害児(者)に対する外来診療について、以下の医療行為に対応できますか

	できる	できない	要相談
予防接種	13	3	4
一次診療(経過観察、栄養観察を含む)	13	3	4
経鼻経管栄養の管理	9	7	4
経皮経管栄養の管理(胃ろう)	8	8	4
中心静脈栄養の管理	7	8	5
酸素療法の管理	9	8	3
気管切開の管理	8	8	4
人工呼吸器の管理	8	9	3
尿道留置カテーテルの管理	7	8	5
人工肛門の管理	7	8	5
褥瘡の管理	7	6	7



## 2. 医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)に対する往診及び訪問診療について、以下の医療行為に対応できますか

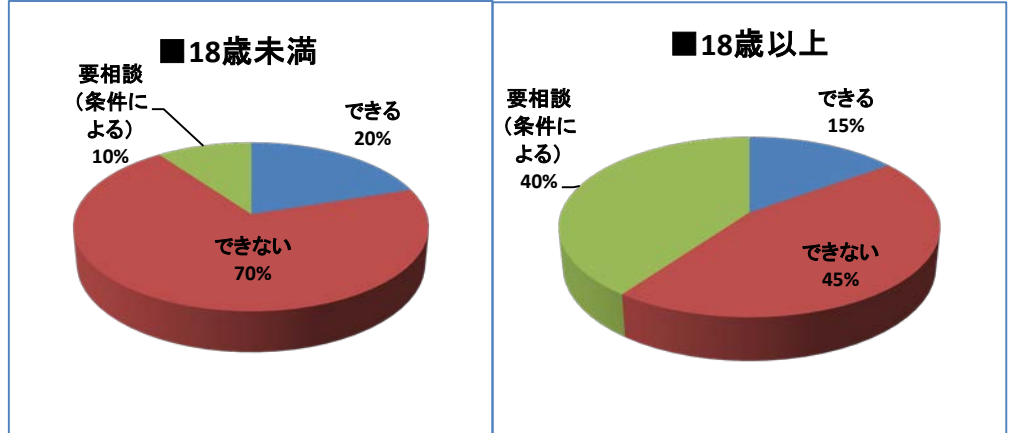
	できる	できない	要相談
予防接種	0	19	1
経鼻経管栄養の管理	0	20	0
経皮経管栄養の管理(胃ろう)	0	20	0
中心静脈栄養の管理	0	20	0
酸素療法の管理	0	20	0
気管切開の管理	0	20	0
人工呼吸器の管理	0	20	0
尿道留置カテーテルの管理	0	20	0
人工肛門の管理	0	20	0
褥瘡の管理	0	20	0



# I. 病院

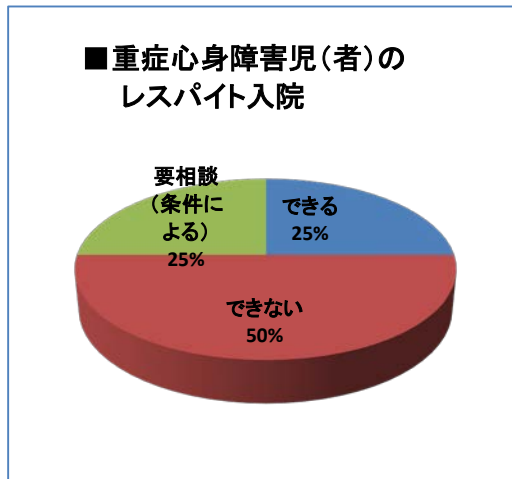
3-4.24時間、重症心身障害児(者)の医療に対応ができますか

	できる	できない	要相談
18歳未満	4	14	2
18歳以上	3	9	8



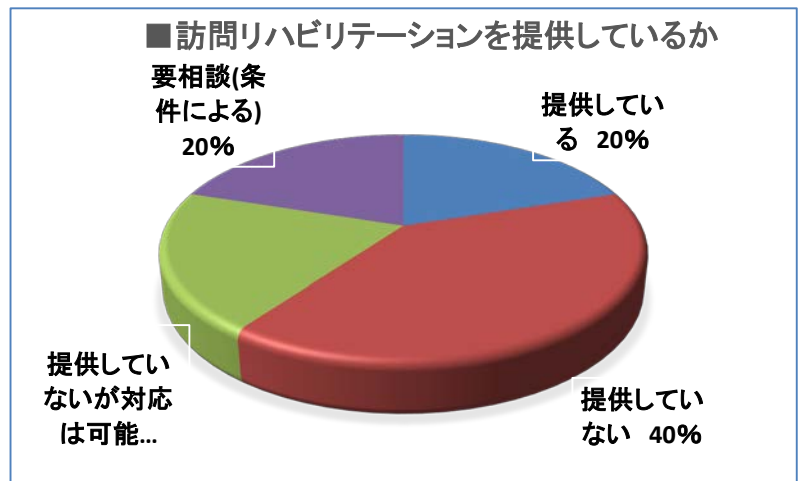
5.重症心身障害児(者)のレスパイト入院に対応ができますか

できる	できない	要相談
5	10	5



6.医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)に対する訪問リハビリテーションを提供していますか

提供している	5
提供していない	10
提供していないが対応は可能	5
要相談	5

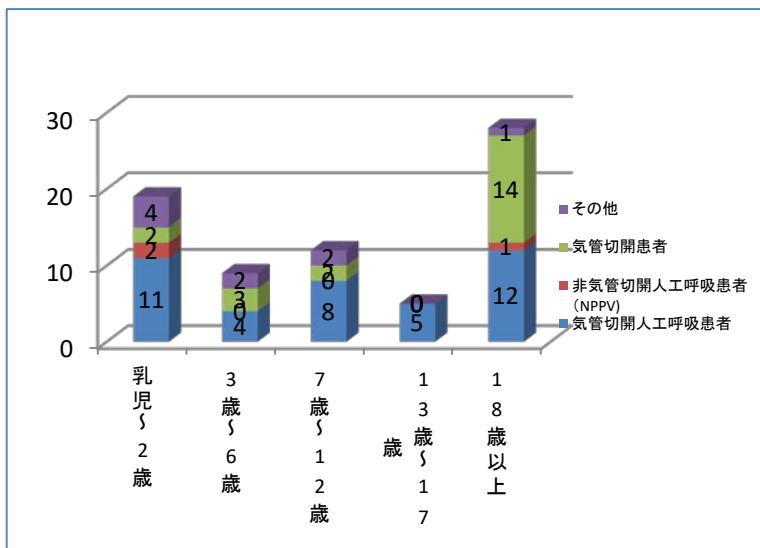


# I. 病院

7.平成26年度において、以下の長期入院児(6ヶ月以上)の患者数は何名ですか

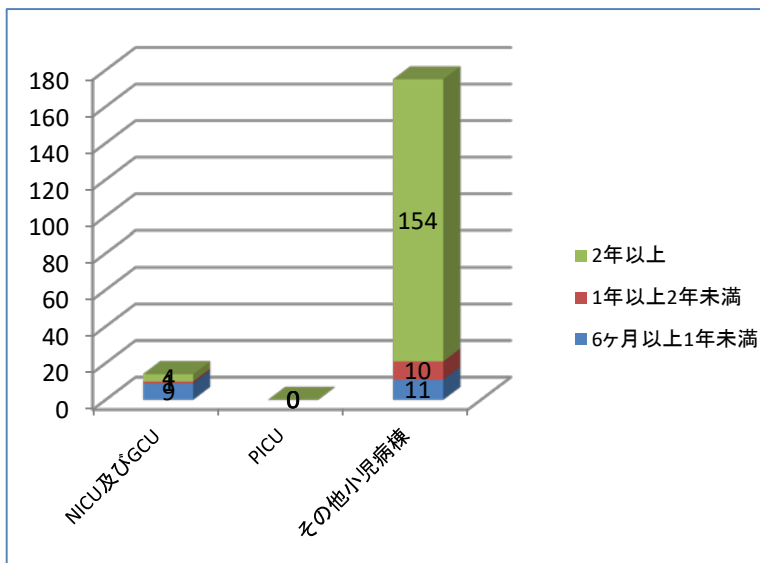
(「原疾患」及び「長期入院理由」について、複数の理由がある場合は、主な理由を選んでください)

	乳児～2歳	3歳～6歳	7歳～12歳	13歳～17歳	18歳以上
気管切開人工呼吸患者	11	4	8	5	12
非気管切開人工呼吸患者(NPPV)	2	0	0	0	1
気管切開患者	2	3	2	0	14
その他	4	2	2	0	1



## ■入院期間

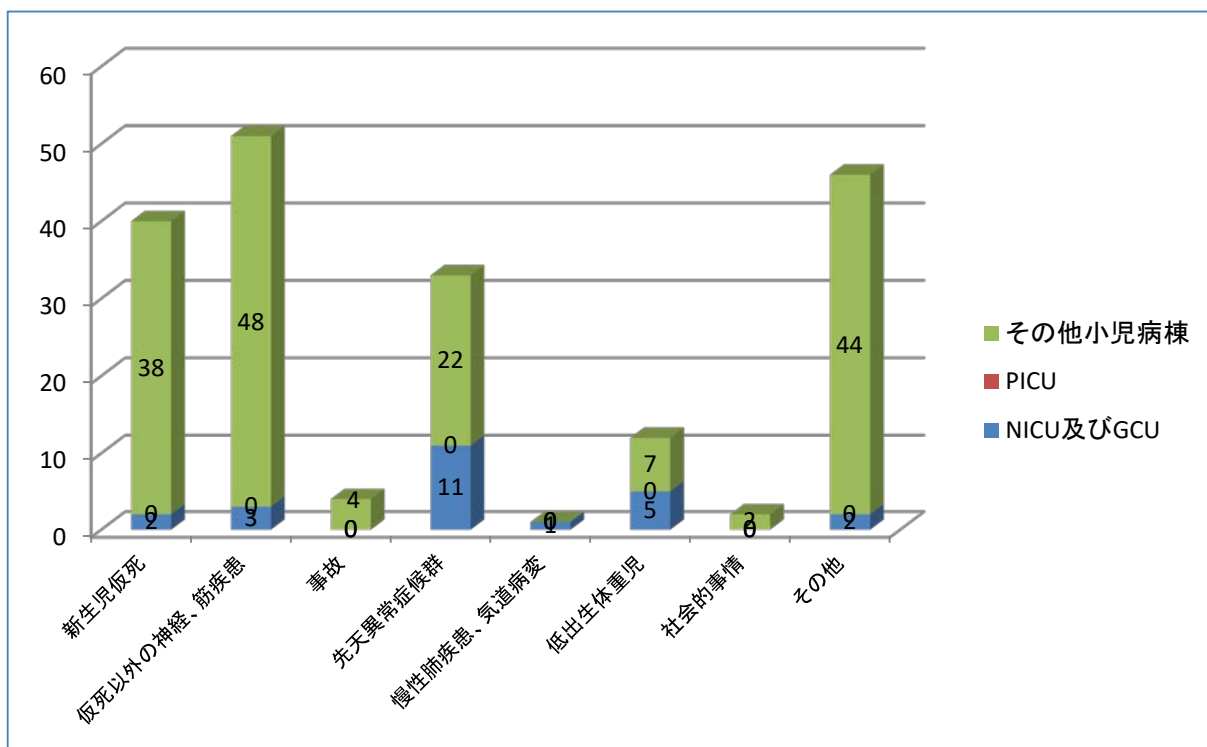
	NICU及びGCU	PICU	その他小児病棟
6ヶ月以上1年未満	9	0	11
1年以上2年未満	1	0	10
2年以上	4	0	154



# I. 病院

## ■原疾患

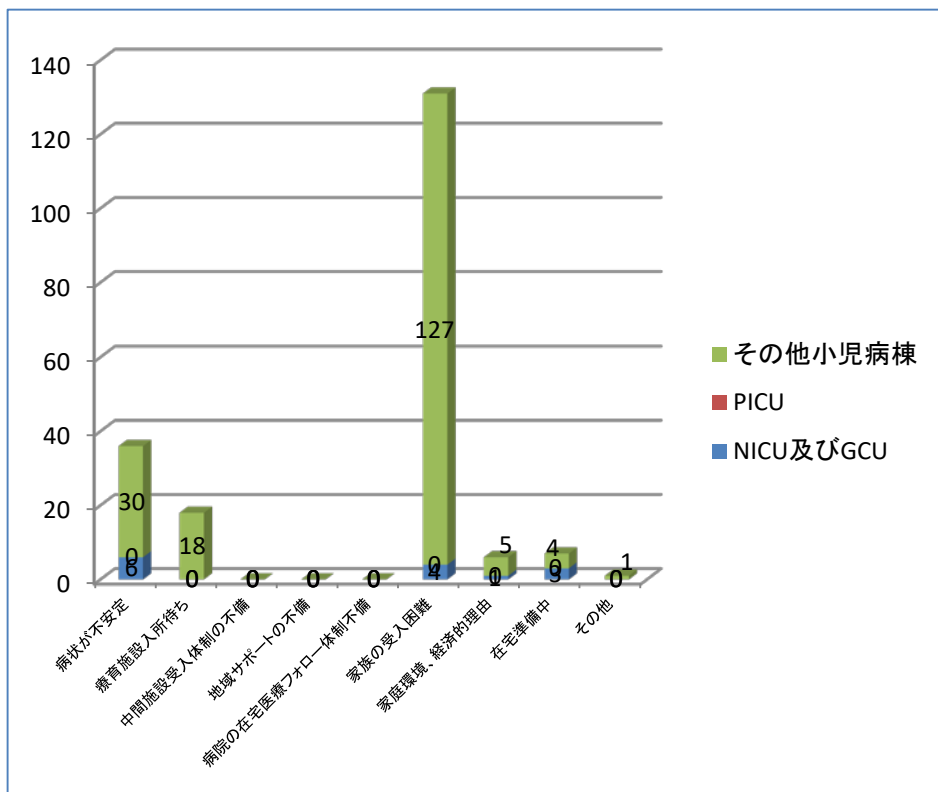
	NICU及びGCU	PICU	その他小児病棟
新生児仮死	2	0	38
仮死以外の神経、筋疾患	3	0	48
事故	0	0	4
先天異常症候群	11	0	22
慢性肺疾患、気道病変	1	0	0
低出生体重児	5	0	7
社会的事情	0	0	2
その他	2	0	44



# I. 病院

## ■長期入院理由

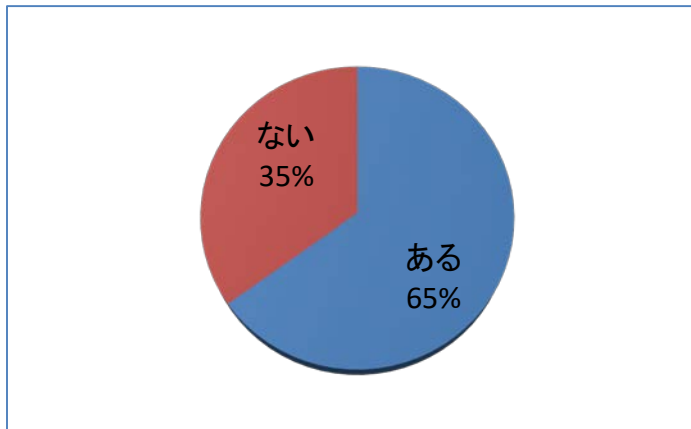
	NICU及びGCU	PICU	その他小児病棟
病状が不安定	6	0	30
療育施設入所待ち	0	0	18
中間施設受入体制の不備	0	0	0
地域サポートの不備	0	0	0
病院の在宅医療フォロー体制不備	0	0	0
家族の受入困難	4	0	127
家庭環境、経済的理由	1	0	5
在宅準備中	3	0	4
その他	0	0	1



# I. 病院

■重症心身障害児(者)に対する相談窓口はありますか

ある	ない
13	7



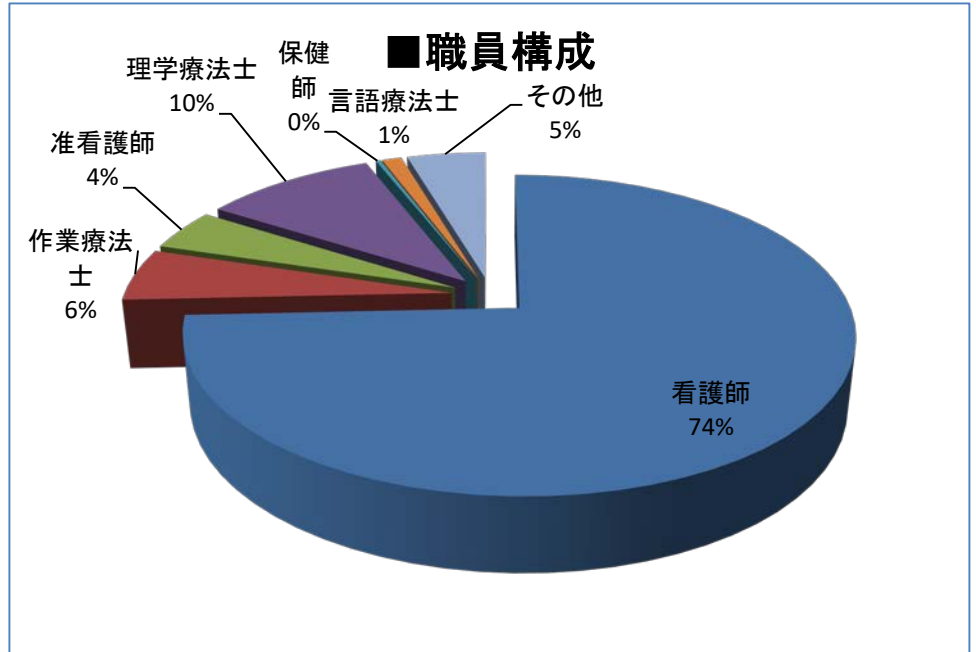
事業所名	部署名・職名	ご担当者氏名	連絡先 Tel	e-mail address
西方病院	西方病院地域連携室		0282-25-7310	<a href="mailto:nishikata-renkei@cc9.ne.jp">nishikata-renkei@cc9.ne.jp</a>
新小山市市民病院	医療相談室保健師	多賀谷邦子	0285-36-0256	<a href="mailto:soudan@hospital.oyama.tochigi.jp">soudan@hospital.oyama.tochigi.jp</a>
小山厚生病院	看護師長	横家よね子	0285-22-1105 0285-24-9890	
石橋総合病院	地域医療連携部	(部長)岩崎さゆり	0285-53-1134	<a href="mailto:ishibashi-renkei@yushikai.jp">ishibashi-renkei@yushikai.jp</a>
下都賀総合病院	医療福祉相談室	MSWが3人おります	0282-22-2551	
自治医科大学附属病院	地域医療連携部(看護師)	黒田 光恵	0285-44-2111	<a href="mailto:mazuek@jichi.ac.jp">mazuek@jichi.ac.jp</a>
済生会宇都宮病院	地域連携課	荻津 守	028-626-5500	
足利赤十字病院	事務部医事課社会福祉士	布施 麻由実	0284-20-1307	
獨協医科大学病院	地域医療連携センター医療福祉相談室		0282-87-2185	
あしかがの森足利病院	メディカルソーシャルワーカー	福地 哲郎	0284-91-0611	<a href="mailto:soudan@ashikaga-hospital.or.jp">soudan@ashikaga-hospital.or.jp</a>
那須赤十字病院	地域医療福祉連携課福祉係長	野中美希	0287-23-1122	<a href="mailto:renkeika@nasu.jrc.or.jp">renkeika@nasu.jrc.or.jp</a>

## Ⅱ. 訪問看護事業所

### 1. 貴施設についてお伺いたします

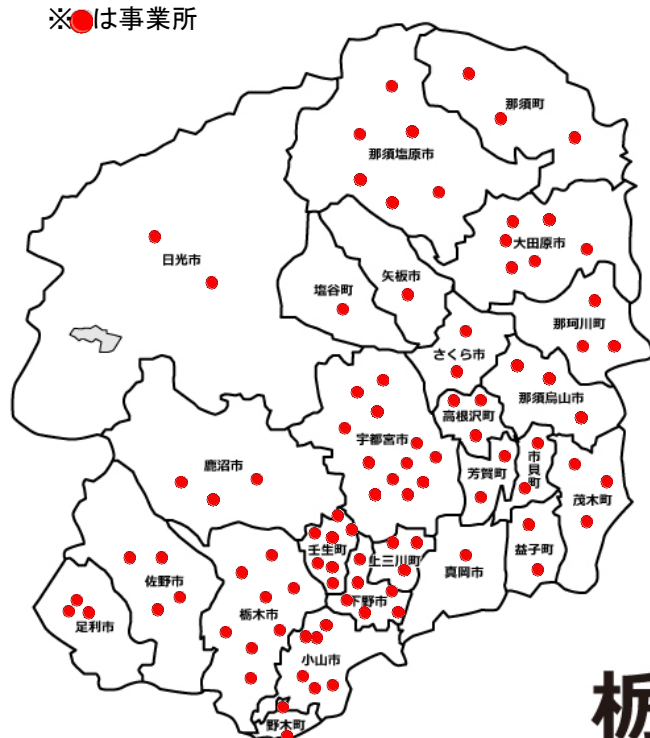
#### (5) 職員構成

看護師	260
作業療法士	19
准看護師	15
理学療法士	35
保健師	1
言語療法士	4
その他	16



#### (6) 訪問可能な主な市町村

訪問可能市町村	事業所数
足利市	3
市貝町	2
宇都宮市	13
大田原市	6
小山市	6
鹿沼市	3
上三川町	3
さくら市	2
佐野市	4
塩谷町	1
下野市	6
高根沢町	3
栃木市	8
那珂川町	3
那須烏山市	3
那須塩原市	6
那須町	3
日光市	2
野木町	2
芳賀町	2
益子町	2
壬生町	7
真岡市	1
茂木町	3
矢板市	1



栃木県

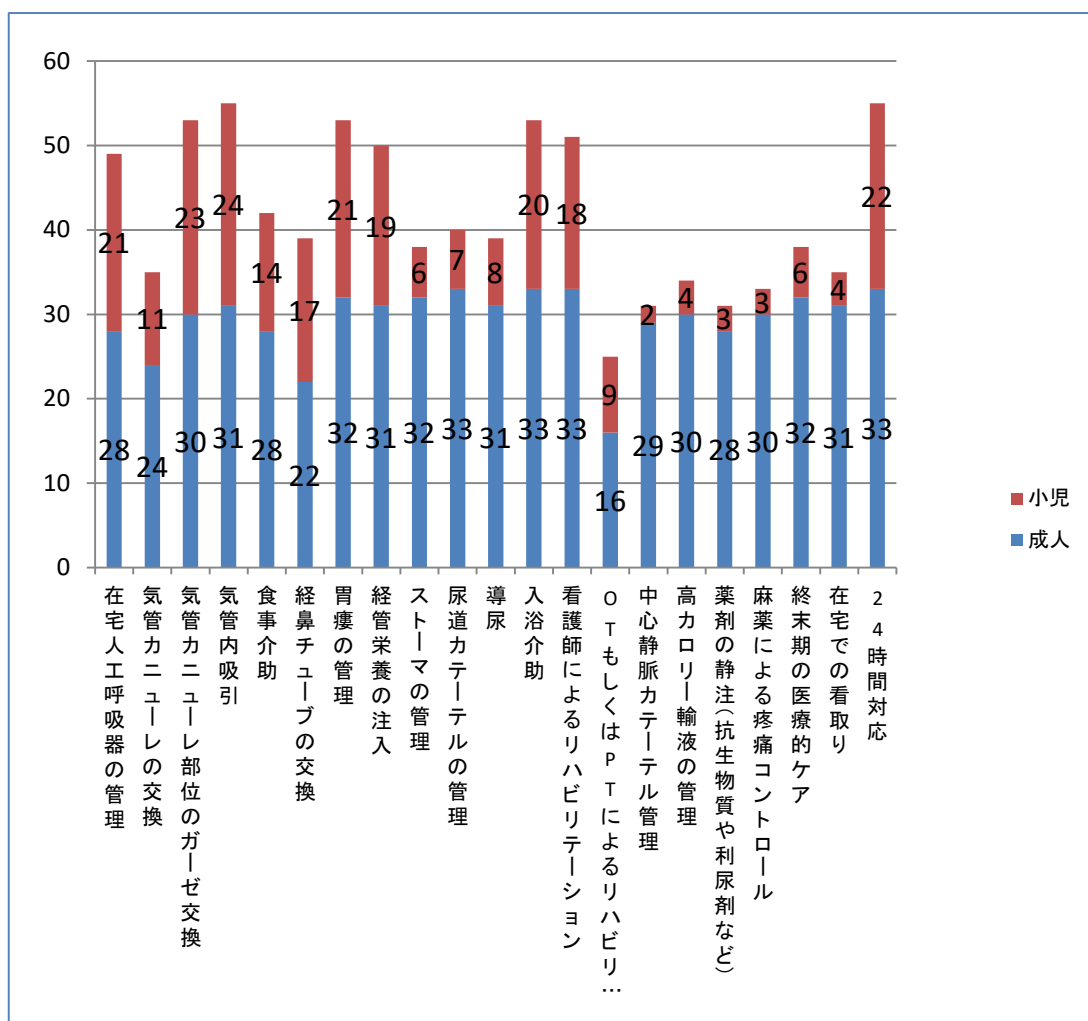


## Ⅱ. 訪問看護事業所

### 2. いままで以下の項目を在宅看護で行ったことがありますか

	成人	小児
在宅人工呼吸器の管理	28	21
気管カニューレの交換	24	11
気管カニューレ部位のガーゼ交換	30	23
気管内吸引	31	24
食事介助	28	14
経鼻チューブの交換	22	17
胃瘻の管理	32	21
経管栄養の注入	31	19
ストーマの管理	32	6
尿道カテーテルの管理	33	7
導尿	31	8

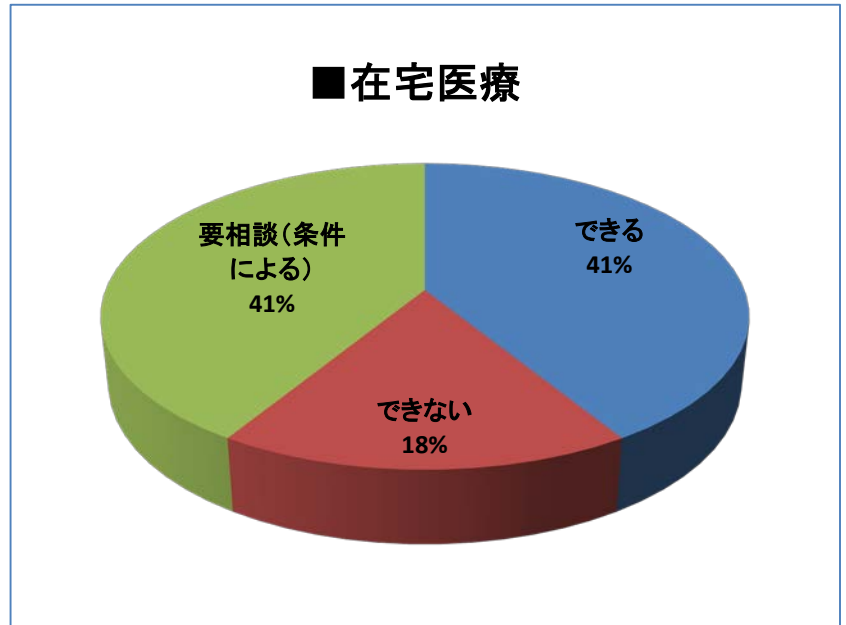
	成人	小児
入浴介助	33	20
看護師によるリハビリテーション	33	18
OTもしくはPTによるリハビリテーション	16	9
中心静脈カテーテル管理	29	2
高カロリー輸液の管理	30	4
薬剤の静注(抗生物質や利尿剤など)	28	3
麻薬による疼痛コントロール	30	3
終末期の医療的ケア	32	6
在宅での看取り	31	4
24時間対応	33	22



## Ⅱ. 訪問看護事業所

3.現時点で、依頼のあった場合、重症心身障害児(者)の在宅医療を行うことはできますか

できる	できない	要相談
14	6	14



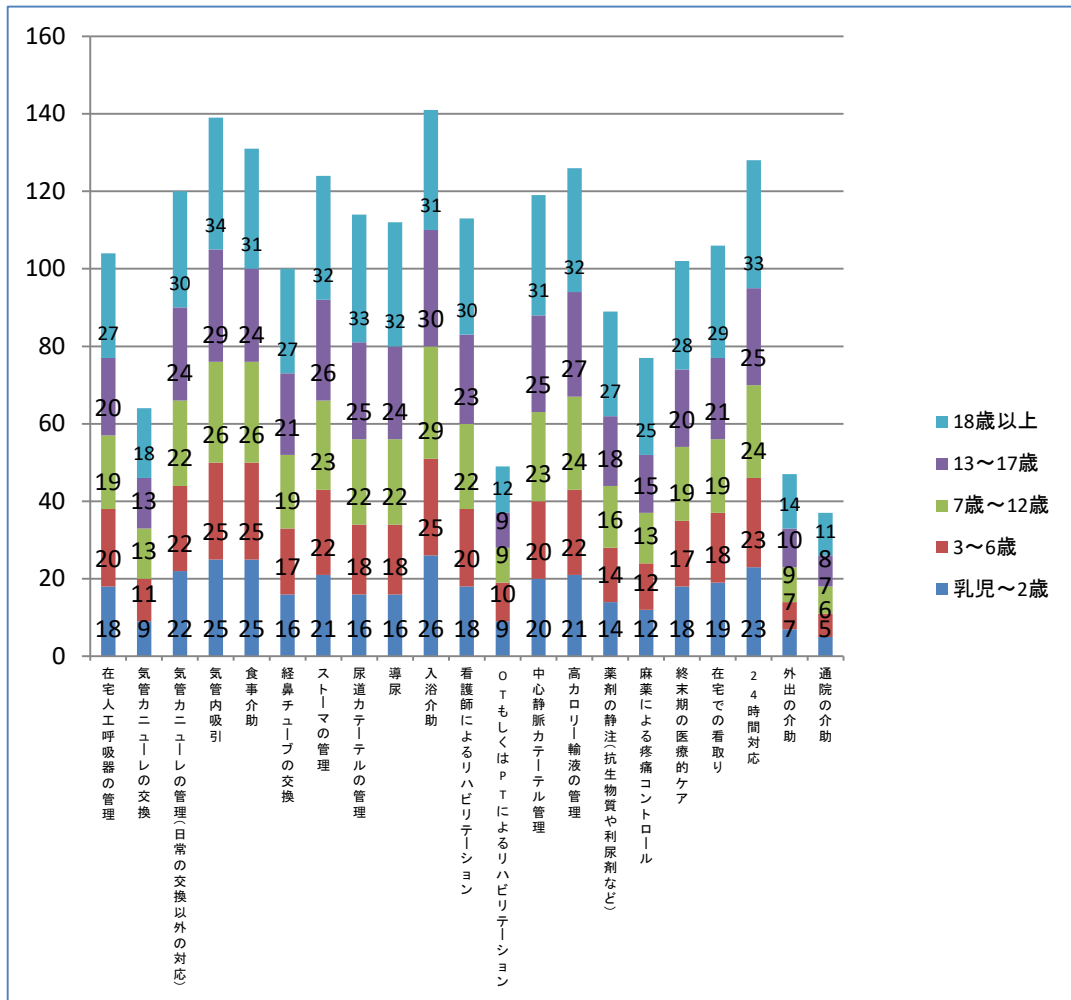
## Ⅱ. 訪問看護事業所

### 4. 依頼があった場合に可能な医療的ケアと身体介護についてお答えください

【対応できる】

	在宅人工呼吸器の管理	気管カニューレの交換	気管カニューレの管理 (日常の交換以外の対応)	気管内吸引	食事介助	経鼻チューブの交換	ストーマの管理	尿道カテーテルの管理	導尿	入浴介助	看護師による リハビリテーション
乳児～2歳	18	9	22	25	25	16	21	16	16	26	18
3～6歳	20	11	22	25	25	17	22	18	18	25	20
7歳～12歳	19	13	22	26	26	19	23	22	22	29	22
13～17歳	20	13	24	29	24	21	26	25	24	30	23
18歳以上	27	18	30	34	31	27	32	33	32	31	30

	併せしてPTによる リハビリテーション	中心静脈カテーテル管理	高カロリー輸液の管理	薬剤の静注 (抗生物質や利尿剤など)	麻薬による疼痛コントロール	終末期の医療的ケア	在宅での看取り	24時間対応	外出の介助	通院の介助
乳児～2歳	9	20	21	14	12	18	19	23	7	5
3～6歳	10	20	22	14	12	17	18	23	7	6
7歳～12歳	9	23	24	16	13	19	19	24	9	7
13～17歳	9	25	27	18	15	20	21	25	10	8
18歳以上	12	31	32	27	25	28	29	33	14	11

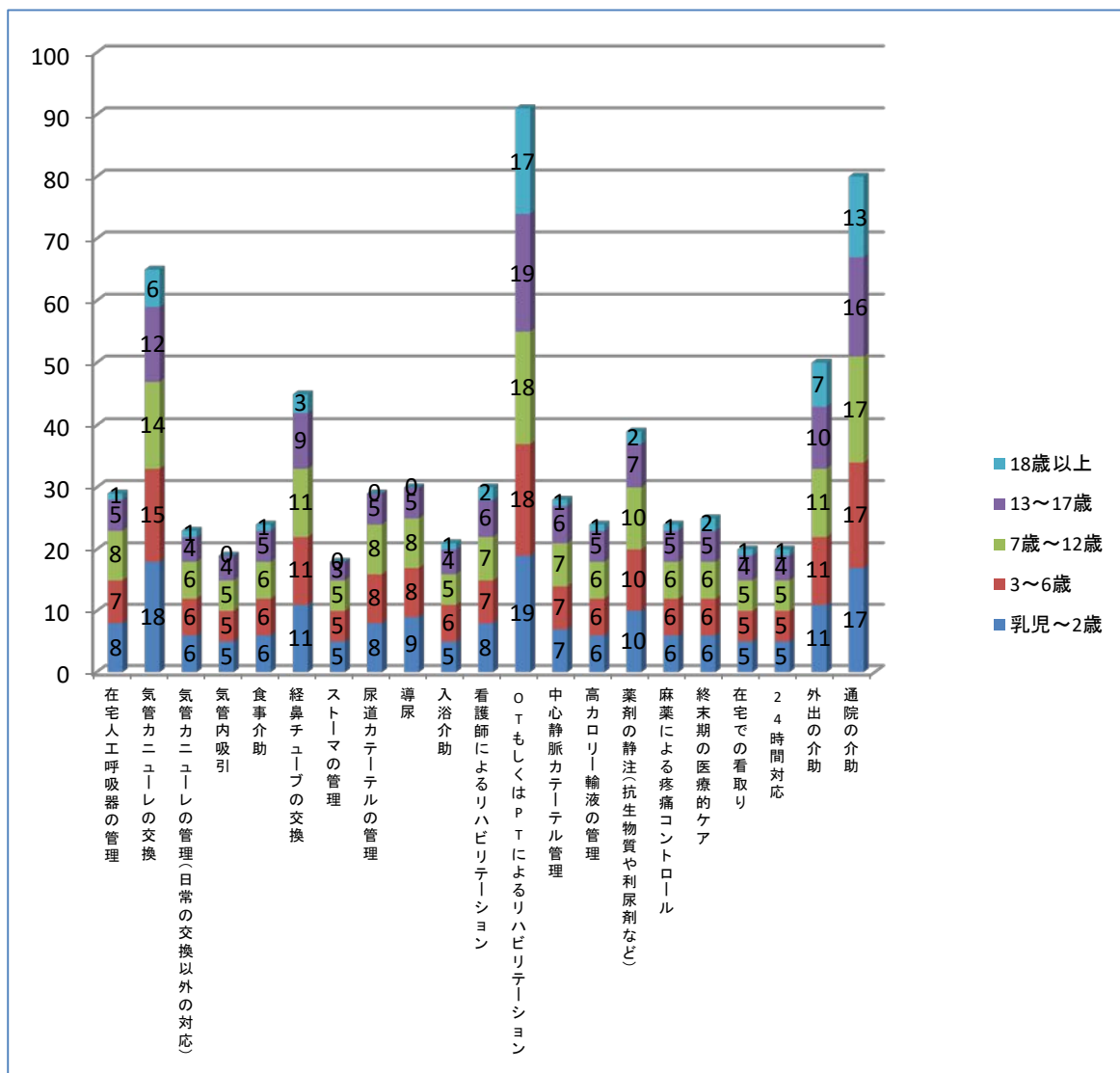


## Ⅱ. 訪問看護事業所

### 【対応できない】

	在宅人工呼吸器の管理	気管カニューレの交換	気管カニューレの管理 (日常の交換以外の対応)	気管内吸引	食事介助	経鼻チューブの交換	ストーマの管理	尿道カテーテルの管理	導尿	入浴介助	看護師による リハビリテーション
乳児～2歳	8	18	6	5	6	11	5	8	9	5	8
3～6歳	7	15	6	5	6	11	5	8	8	6	7
7歳～12歳	8	14	6	5	6	11	5	8	8	5	7
13～17歳	5	12	4	4	5	9	3	5	5	4	6
18歳以上	1	6	1	0	1	3	0	0	0	1	2

	0もしくは閉鎖による リハビリテーション	中心静脈カテーテル管理	高カロリー輸液の管理	薬剤の静注 (抗生物質や利尿剤など)	麻薬による疼痛コントロール	終末期の医療的ケア	在宅での看取り	24時間対応	外出の介助	通院の介助
乳児～2歳	19	7	6	10	6	6	5	5	11	17
3～6歳	18	7	6	10	6	6	5	5	11	17
7歳～12歳	18	7	6	10	6	6	5	5	11	17
13～17歳	19	6	5	7	5	5	4	4	10	16
18歳以上	17	1	1	2	1	2	1	1	7	13

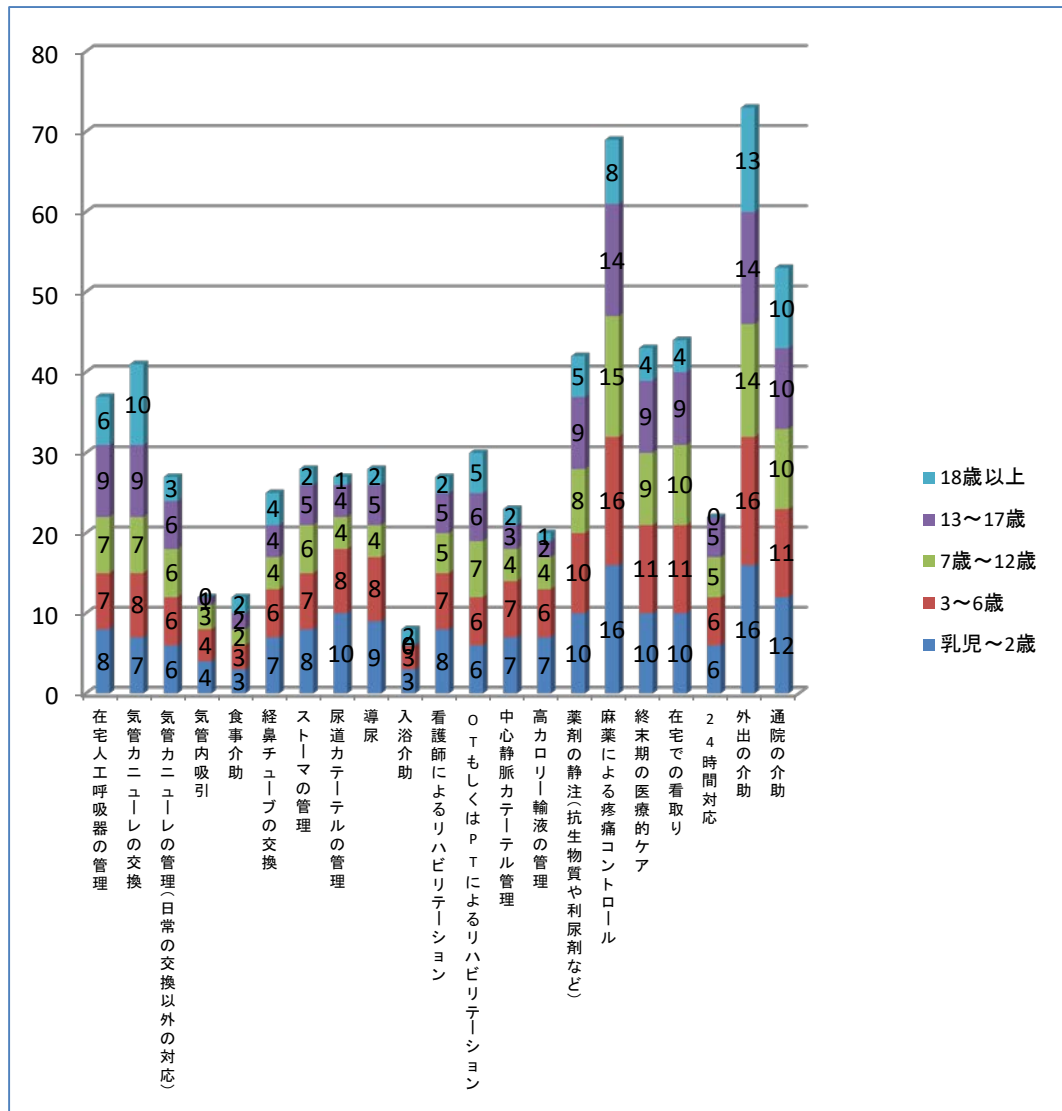


# II. 訪問看護事業所

## 【要相談】

	在宅人工呼吸器の管理	気管カニューレの交換	気管カニューレの管理 (日常の交換以外の対応)	気管内吸引	食事介助	経鼻チューブの交換	ストーマの管理	尿道カテーテルの管理	導尿	入浴介助	看護師による リハビリテーション
乳児～2歳	8	7	6	4	3	7	8	10	9	3	8
3～6歳	7	8	6	4	3	6	7	8	8	3	7
7歳～12歳	7	7	6	3	2	4	6	4	4	0	5
13～17歳	9	9	6	1	2	4	5	4	5	0	5
18歳以上	6	10	3	0	2	4	2	1	2	2	2

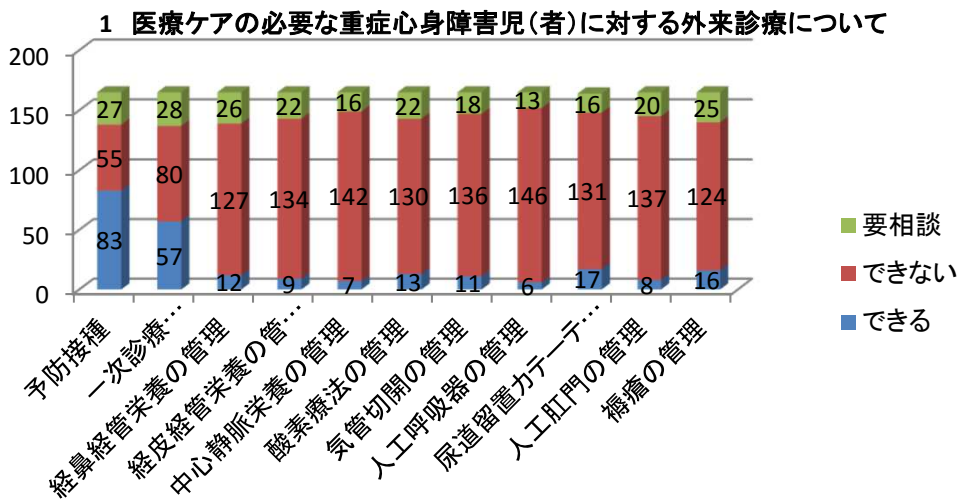
	0もしくはP Tによる リハビリテーション	中心静脈カテーテル管理	高カロリー輸液の管理	薬剤の静注 (抗生物質や利尿剤など)	麻薬による疼痛コントロール	終末期の医療的ケア	在宅での看取り	24時間対応	外出の介助	通院の介助
乳児～2歳	6	7	7	10	16	10	10	6	16	12
3～6歳	6	7	6	10	16	11	11	6	16	11
7歳～12歳	7	4	4	8	15	9	10	5	14	10
13～17歳	6	3	2	9	14	9	9	5	14	10
18歳以上	5	2	1	5	8	4	4	0	13	10



### Ⅲ. 診療所

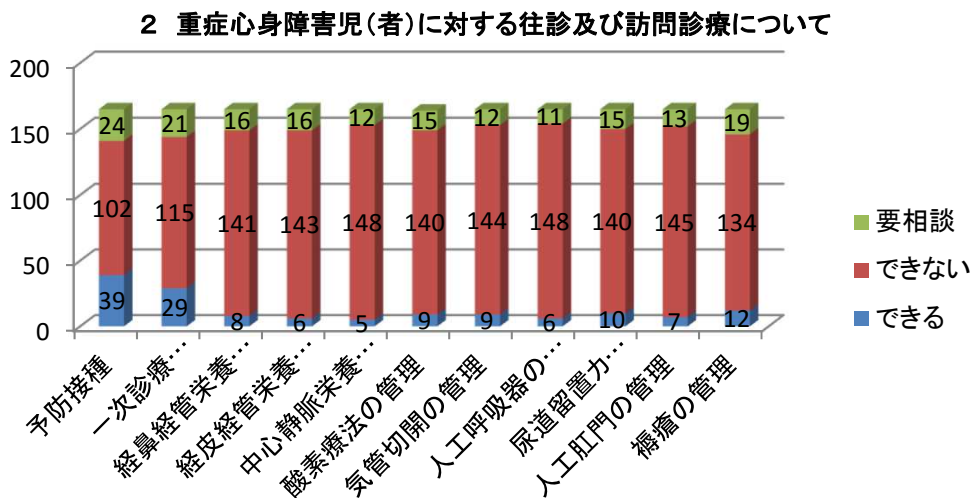
1. 医療ケアの必要な重症心身障害児(者)に対する外来診療について、以下の医療行為に対応できますか。

	予防接種	一次診療 (経過観察、栄養 観察を含む)	経鼻経管栄養の管理	経皮経管栄養の管理(胃ろう)	中心静脈栄養の管理	酸素療法の管理	気管切開の管理	人工呼吸器の管理	尿道留置カテーテルの管理	人工肛門の管理	褥瘡の管理
できる	83	57	12	9	7	13	11	6	17	8	16
できない	55	80	127	134	142	130	136	146	131	137	124
要相談	27	28	26	22	16	22	18	13	16	20	25



2. 医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)に対する往診及び訪問診療について、以下の医療行為に対応できますか

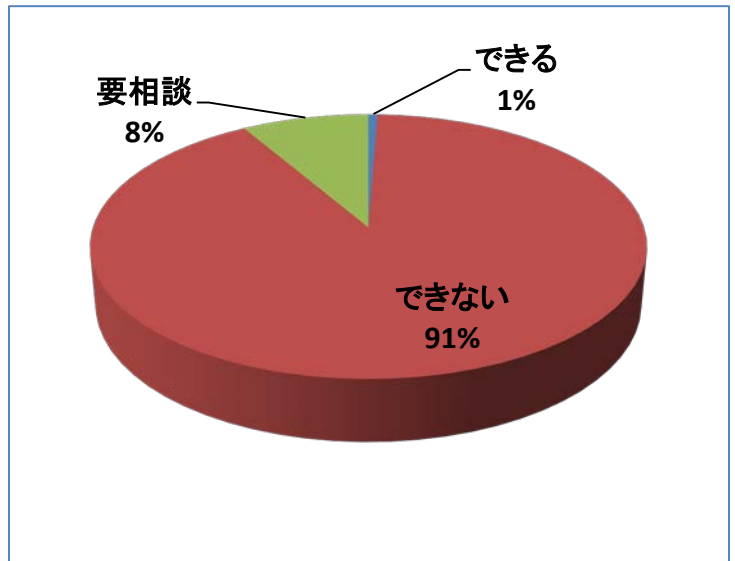
	予防接種	一次診療 (経過観察、栄養 観察を含む)	経鼻経管栄養の管理	経皮経管栄養の管理(胃ろう)	中心静脈栄養の管理	酸素療法の管理	気管切開の管理	人工呼吸器の管理	尿道留置カテーテルの管理	人工肛門の管理	褥瘡の管理
できる	39	29	8	6	5	9	9	6	10	7	12
できない	102	115	141	143	148	140	144	148	140	145	134
要相談	24	21	16	16	12	15	12	11	15	13	19



### Ⅲ. 診療所

#### 3.24時間、重症心身障害児(18歳未満)の医療に対応ができますか

できる	1
できない	150
要相談	14



#### 4.24時間、重症心身障害者(18歳以上)の医療に対応ができますか

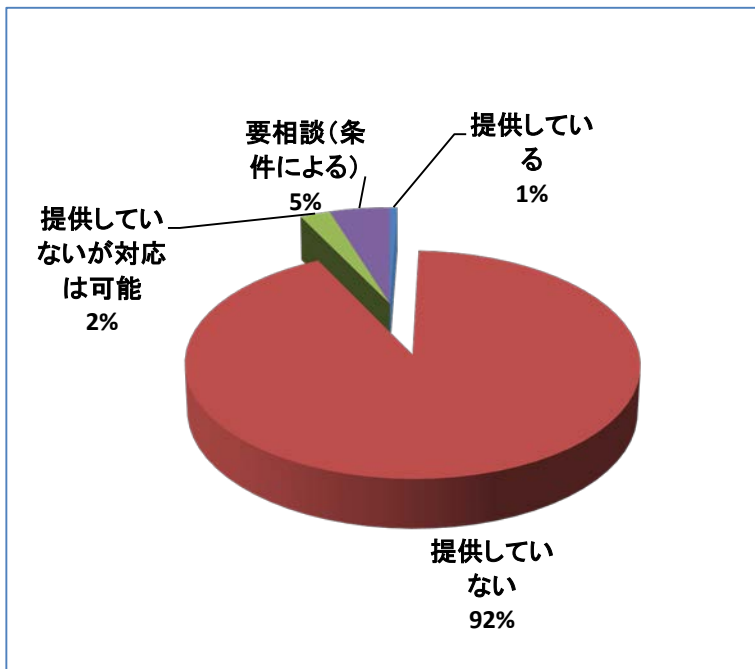
できる	3
できない	150
要相談	12



### Ⅲ. 診療所

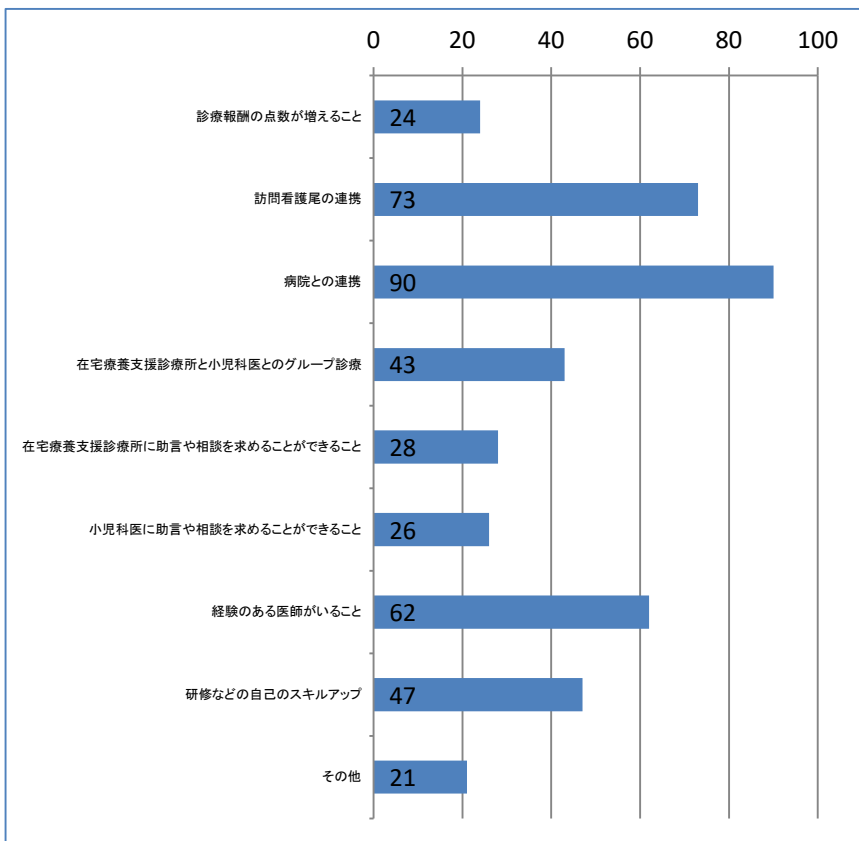
#### 5. 医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)に対する訪問リハビリテーションを提供していますか

提供している	1
提供していない	152
提供していないが対応は可能	4
要相談(条件による)	8



#### 6. 重症心身障害児(者)在宅医療に対応できるようになるための条件はなんですか

診療報酬の点数が増えること	24
訪問看護尾の連携	73
病院との連携	90
在宅療養支援診療所と小児科医とのグループ診療	43
在宅療養支援診療所に助言や相談を求められることができること	28
小児科医に助言や相談を求められることができること	26
経験のある医師がいること	62
研修などの自己のスキルアップ	47
その他	21

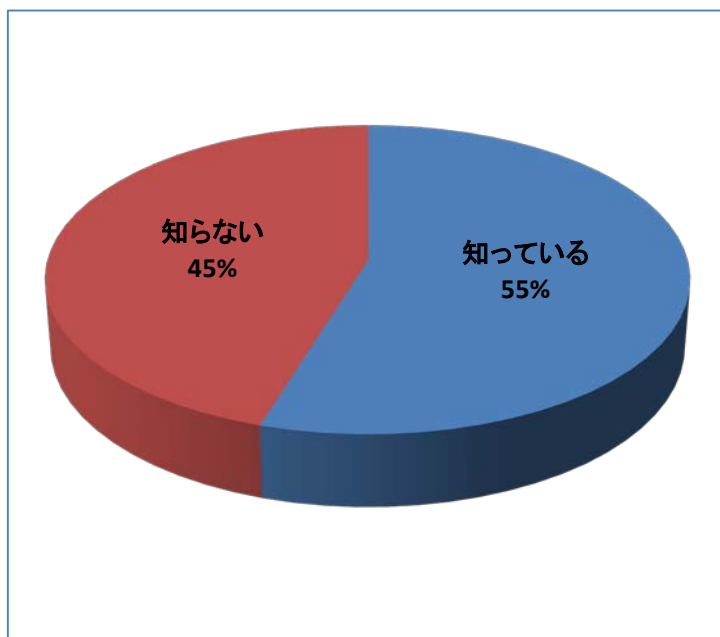




## IV. 相談支援事業所

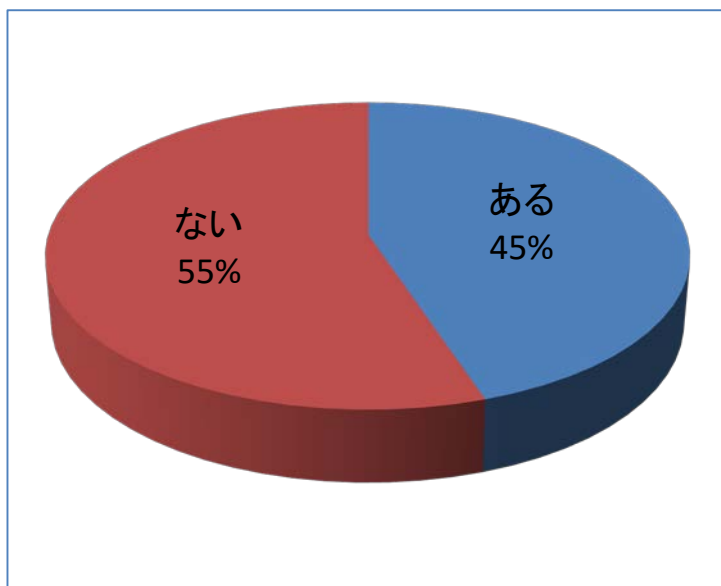
### 1. 重症心身障害児(者)の定義をご存知ですか

知っている	40
知らない	33



### 2. 重症心身障害児(者)の方(家族・関係機関等)からの相談を受けたことがありますか

ある	35
ない	43

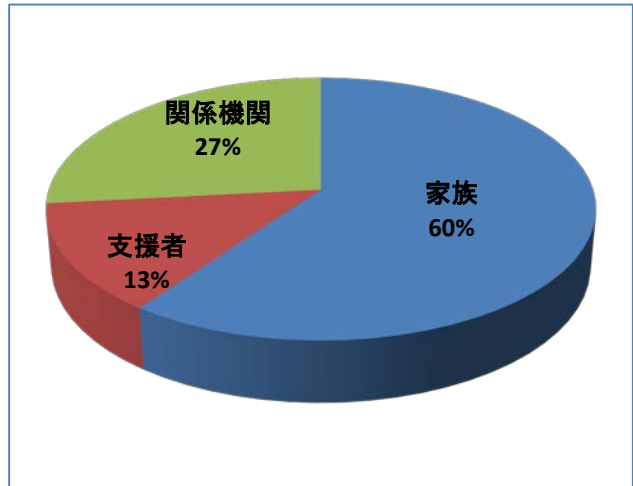


## IV. 相談支援事業所

### 2.重症心身障害児(者)の方(家族・関係機関等)からの相談を受けたことがありますか

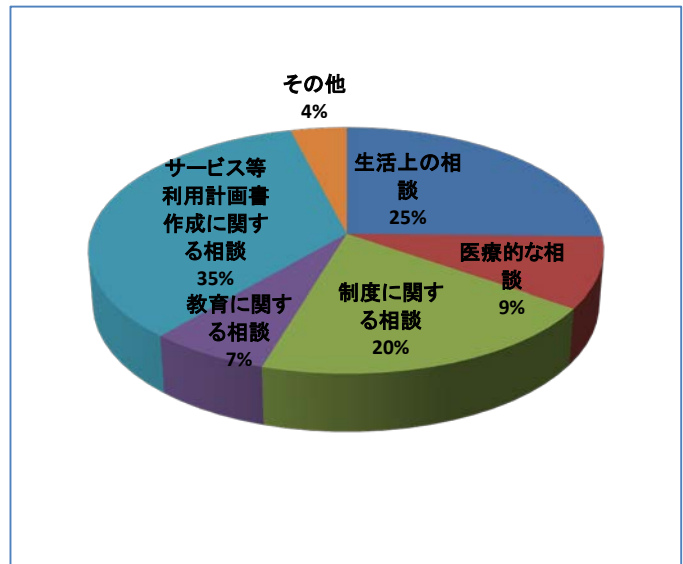
【それは誰からの相談でしたか】

家族	27
支援者	6
関係機関	12



【それはどんな相談でしたか】

生活上の相談	19
医療的な相談	7
制度に関する相談	15
教育に関する相談	5
サービス等利用計画書作成に関する相談	26
その他	3



#### ■その他回答

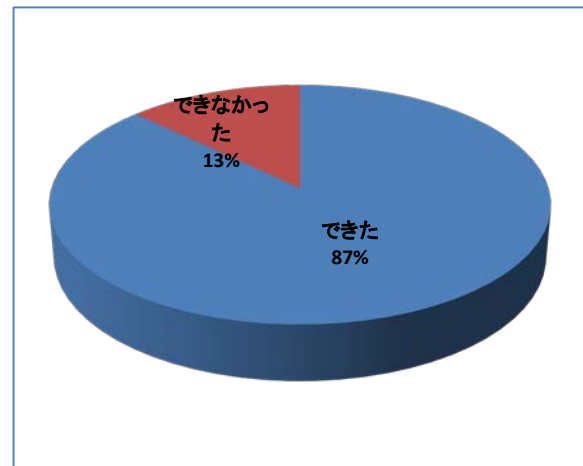
- ・ショートステイの利用が可能かどうか
- ・福祉サービス利用に関する相談
- ・親子間の関わり

【それらの相談事業所として対応(解決)はできましたか】

できた	27
できなかった	4

#### ■できなかった理由

- ・ショートの利用を希望していたが、幼児で夜間に吸引が必要とのことだったので職員配置上困難と判断
- ・医療的なケアが必要なケース、将来的に短期入所につなげたいケースだった為、専門の事業所に依頼した
- ・医療的なケアが必要な利用者様の日中活動先が限られて利用できない人がある。学校との連携が取りにくい。通勤手段・行事参加制限があり平等性が保たれない。学校はサービスで対応を望み、福祉行政は教育で何とかするべきとつねに折り合わない。



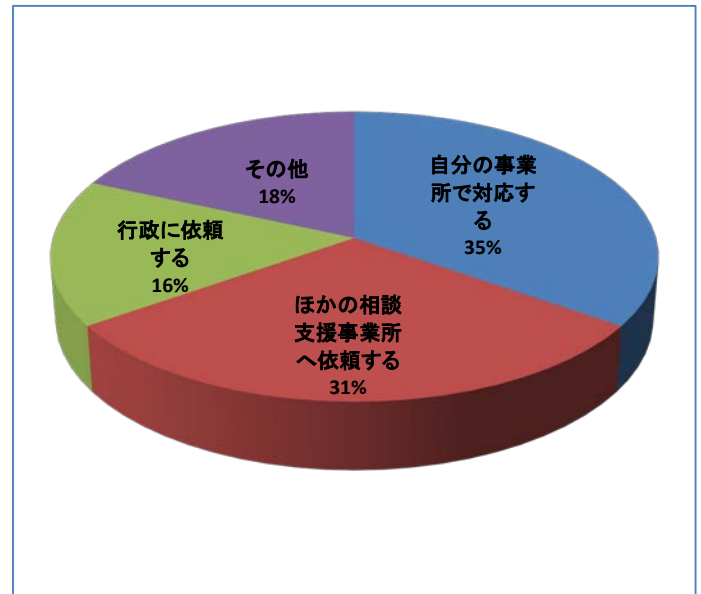
## IV. 相談支援事業所

### 3.これから重症心身障害児(者)の方(本人・家族等)からの相談があればどのように対応されますか】

自分の事業所で対応する	17
ほかの相談支援事業所へ依頼する	15
行政に依頼する	8
その他	9

#### ■その他

- ・本事業所と同様の地域で一般相談支援事業所と連携を図り対応する
- ・しかるべき関係機関と連携して対応する
- ・介護保険と併用する場合のみ対応する
- ・大人は対応可能
- ケースによって検討
- ・状況に応じて対応する

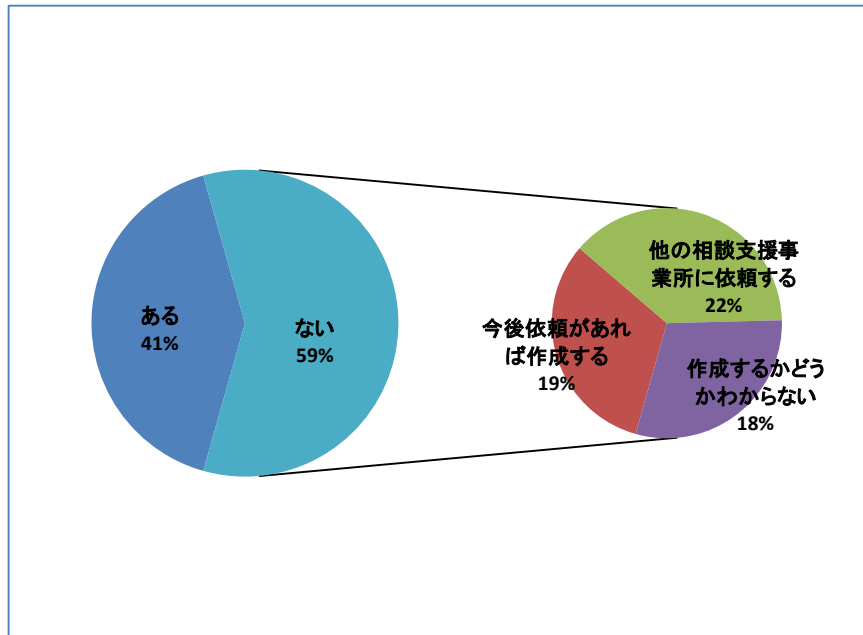


### 4.重症心身障害児(者)の方のサービス等利用計画書を作成したことがありますか

ある	33
ない	46

#### ■「ない」と回答

今後依頼があれば作成する	15
他の相談支援事業所に依頼する	18
作成するかどうかわからない	14



#### ■「ある」と回答→【作成にあたり、苦労したこと困ったことがありましたか】

- ・居宅介護事業所とニーズのマッチング
- ・アセスメント、院内での面会予定の調整、家族への説明など
- ・短期入所、ヘルパーなどの利用希望があっても受け入れてくれる事業所が見つからない
- ・保護者との連携がとれない
- ・自己決定が難しいため、家族中心の考えになってしまうこと。また、利用できる社会資源が少ない。
- ・専門的(医療面)な知識がなく、専門用語が多く調べたり聞いたりしながら支援していくこと。長く関わらないと親の思いまで聞き出せないこと。
- ・利用できるサービス事業所が少ない。重心児者に合わせたプログラムが見つからない(近隣で)
- ・医療的ケアが必要な乳幼児に対応できるヘルパー事業所。短期入所・日中一時支援事業所が近くにない(少ない)。